

Communication on Progress 2018 補足資料

Global Compact の活動状況のご報告を、弊社では毎年発行しております「社会・環境レポート」に含ませていただいております。その中で、人権と腐敗防止につきまして、活動が十分にご説明できていないことから、本補足資料を合わせて提出させていただきます。

人権

当社は、存在目的の中で「全社員の人としての成長を基盤とした信頼され続ける企業を実現する」としております。信頼され続ける企業としていくためには、一人一人の社員の人としての成長が必要です。当社は、社会やお客様から信頼される人を育てることにより、信頼され続ける企業の実現を目指しております。

弊社では、障害者雇用や外国人の方の雇用も行っていますが、これらの方々すべての人権擁護を支持し、尊重しております。それらの方々の待遇や評価、教育に関しても他の日本人社員と同様に行っております。

その長年に渡る障害者雇用への取り組みにより、2015年9月には、厚生労働大臣表彰を受賞させていただきました。

さらに、昨今のコンプライアンス、CSR の重要性の高まりにより、ISO26000 をベースに CSR 経営のシステム化に取り組んでおります。

腐敗防止

弊社は、社是に「誠実」を掲げており、全従業員に事業発展計画書を配布し、考え方の浸透を図っております。その中で、誠実の定義として、「正直でまめやかなこと。嘘、偽りのないこと。思いやる行為。」とし、さらに詳細の説明を「人間関係、事業活動の円滑な状態は、全て信頼関係が究極です。人間関係でも事業活動でも信頼に達するには地味な努力の積み重ねの過程（人の道）が必要です。その第一番目が誠実なのです。（後略）」としており、年に20回読んでいただくことをお願いしています。そして、事業発展計画書、環境整備行働書の感想文として6か月に1回提出をしてもらっており、この中でも従業員から気になることがあれば、書かれて提出されてくる仕組みとして実施しております。

さらに、人権同様、昨今のコンプライアンス、CSR の重要性の高まりにより、ISO26000 をベースに CSR 経営のシステム化に取り組んでおります。

以上